



総主事  
堤 弘雄

## 無条件の愛

結婚した娘が6月末に女児を出産しました。私は気がついたらおじいちゃんになっていました。産後1ヶ月ほど娘と赤ちゃんと一緒に生活しました。みのりと名前が付きましたが、みのりちゃんは3時間ごとに授乳し、ちょっとちゅうオシメを取替え、泣いては抱いてあやし、お風呂にも入れてあげなければなりません。母親は眠ることも許されずかかりきりです。赤ちゃんはゲップをしても誉められ、オナラをふっても誉められます。笑った時は周りの皆を幸せにしてくれます。人間は誰しも自分で大きくなったような顔をしていますが、誰もが赤ちゃんの時は大変な愛情とお世話を受けて育っているのだとあらためて思いました。

人間は赤ちゃんの時は無条件でその存在が認められていますが、大きくなるにつれて存在が認められるのに条件がついてきます。成績や学歴などもその一つです。そして周りの人と競争させられたり、比較されたりします。悲しきかな、ゲップをしてはいやな顔をされ、オナラをふったら嫌われるようになります。だんだん自信をなくしていくのです。

年々自殺者が増加しています。年間約35,000人の尊い命が失われています。これらの人々にも無条件で愛された赤ちゃんの時は確かにあったと思います。現代社会で人間が生きていく上で、存在が認められるための条件が大きく複雑すぎるかもしれません。

このような社会にあって、人間のいのちは無条件で神様によって与えられ愛されている存在であることを覚えていたいと思います。母親が幼子を胸に抱き、元気に育つことだけを祈りながら乳を与える瞬間があったことを思い出すことによって、人間は無条件で愛される存在であることを思い出してほしいと思います。

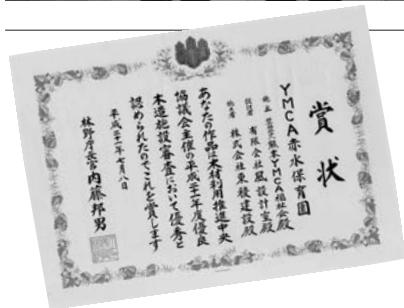


平成21年度 優良木造施設の表彰式

主催 木材利用推進中央協議会・後援 農林水産省

グランプリとなる「林野庁長官賞」に輝きました。受賞は、3月に「第14回熊本県木材利用大型施設コンクール」でグランプリを受賞して以来2度目。今回、民間施設として唯一受賞を受けました。

7月8日(水)、マルパルクTOKYOで行われた表彰式には、熊本YMCAを代表して日本YMCA同盟出向中の光永尚生さん(写



賞 状

YMC赤水保育園  
主催 木材利用推進中央協議会  
受賞者 光永尚生  
年月日 平成21年7月8日  
会場 林野庁内藤邦男

価されました。会員の一人としてとても嬉しく思つています」と話してくれました。

セプトは「人として生きる力の基礎をつくる時期に過ごす場所」。子どもたちの顔や走り回る姿を思い描きながら、YMCAの「精神・知性・身体の調和のとれた全人的成長を目指した教育」への願いを込めて、親しみ・安らぎ・力強さを持つ建物に近づけるよう設計監理しました。大人になった時、赤水保育園で過ごした生活が心の糧になることを願っています。今回の受賞では、熊本YMCAの長年

キヤンプ」が開催されました。これは、6月10日(水)に行われた

シオン園の子どもたち19名を阿蘇YMCAに招待し、「交流デイ大会」の益金をもとに実施されたもの。当日は協会に加盟する企業の社員のほか、阿蘇ワイズメンズクラブからも参加・協力がありました。「リズム肩たたき」や「じやんけん列車」などのレクリエーションでは、子どもたちから、「もう一回やりた

い！」との声が。昼食は、あか牛

や地鶏などのバーベキュー。子どもたちが自分たちでトッピング

を上ると、大切に運び「おいしい！」と頬張る姿が見られました。食事中にも、学校での出来事や、仕事の内容などを話題に交

流が続き、参加者からは、「職場では子どもたちから手をつなぐ、子どもたちから手をつなぐ、子どもの感想が聞かれました。また、ヴァイオリンとピアノのデュオ“ORANGE”によ

り、その演奏に合わせて、子どもたちは手拍子。阿蘇の豊かな自然の中でのデイキャンプは、子どもたちにとって残る一日となつた

音楽会では、「崖の上のポニヨ」など8曲の演奏に合わせて、子どもたちは手

を躍り、通訳をするなど大活躍。また、みなみYMCAの2人が館内を案内した

YMC学院日本語科に在籍する韓国からの留学生の2人が館内を案内した

YMC学院日本語科に在籍する韓国からの留学生の2人が館内を案内した

YMC学院日本語科に在籍する韓国からの留学生の2人が館内を案内した

YMC学院日本語科に在籍する韓国からの留学生の2人が館内を案内した

YMC学院日本語科に在籍する韓国からの留学生の2人が館内を案内した

YMC学院日本語科に在籍する韓国からの留学生の2人が館内を案内した

YMC学院日本語科に在籍する韓国からの留学生の2人が館内を案内した

YMC学院日本語科に在籍する韓国からの留学生の2人が館内を案内した

# YMCA赤水保育園 優良木造施設表彰準グランプリに輝く



## 児童養護施設の子どもたちと阿蘇でデイキャンプ



REPORT



■開催日時 / 2009年7月19日(日)15時~18時半  
■開催場所 / ながみねファミリーYMCAYMCA

YMCAYMCA

ながみね  
ながみねファミリーYMCAYMCA

ながみね  
ながみねファミリーYMCAYMCA

ながみね  
ながみねファミリーYMCAYMCA

ながみね  
ながみねファミリーYMCAYMCA

地域との親睦を深める目的で「YMCAYMCAと地域の働きを語る会」が初めて開催され、フィットネス会員や運営委員のほか、自治会や近隣の店舗などからも参加がありました。はじめに、ながみねファミリーYMCAYMCAの活動について説明があつた後、総勢54名が4つのグループに分かれ、YMCAYMCAや地域の働きについて話し合い。YMCAYMCAが地域活性化の源になつてほしいといふ願いを知るきっかけになりました。

